

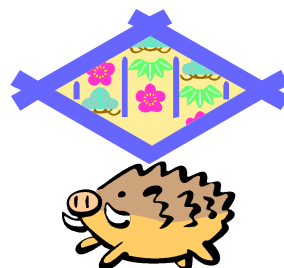
## 明けましておめでとうございます。 今年もよろしくお祈いします。

明けましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話様になりました。引き続き、今年もよろしくお祈いいたします。

さて、今日から3学期がスタートしました。3年生が進路を決定し、卒業式を迎え、1、2年生も一年のまとめを行い、新しい学年の準備をしていく大切な学期ですが、インフルエンザや感染性胃腸炎、風邪が流行する大変な学期でもあります。雪について心配する必要があるかもしれません。

大切に大変な3学期を無事に乗り切るためには、①生徒のみなさん、保護者の皆様、学校とで情報交換をこまめに行う②予防（手洗い・うがい・マスク・睡眠と栄養）をしっかりと行う③初期対応（かかったなと思ったら、お医者さんに行く、早めに休む）を迅速に行うことが大切です。学校もこの点に気をつけていきたいと思しますので、体調がおかしいなと思ったら、決して無理をせずにご相談ください。なお、インフルエンザや雪の影響による部活動の中止や登下校、授業時間の変更などは「ふれあいメール」を通じてお知らせする予定ですのでご承知おきください。

なお、始業式で寺島は以下のように話しました。



みなさん明けましておめでとうございます。

2019年、平成31年が始まりました。と言っても、みなさん既にご存じのとおり、天皇陛下が4月30日にご退位になり、皇太子殿下が新しい天皇陛下として即位なさるのに伴い、元号が変わります。4月1日に発表されるということですが、はたして、次は、どんな元号になるのでしょうか。

さて、新しい一年の話です。ご存じのとおり日本には2種類の一年のとらえ方があります。平成30年と平成30年度がそれです。平成30年がカレンダーのとおり1月1日から始まる一年を指すのに対して、平成30年度とは4月1日からの一年を指します。ですから、3月31日までの3か月間は、平成31年であり、平成30年度でもあるという、少しややこしい時期に当たるわけです。

3か月後、1、2年生の皆さんは、一つ上の学年、今とは違う学級で学ぶこととなります。3年生の人たちは毎日通う場所さえも新しくなります。そういった大きな変化が待っているわけですから、新しいステージに行くまでの残された3か月の間に、皆さんは何をすればよいのでしょうか？

真っ先に連想するのは「反省」という言葉かもしれません。でも、「反省」には、「自分の行動や発言を振り返り、良いか悪いかを考える」といった意味のほかに「自分のよくなかった点を認めてあらためよう」と考える「反省文」の言葉が示すとおり、どちらかという第2の意味、「ごめんなさい」とおわびをするイメージが強いような気がするのです。

新しい年が始まったところでわざわざ「ごめんなさい」では、どうも勢いがしぼんでしまいます。そこで、「反省」よりイメージがつかみにくくはなりますが、「評価」という言葉を使ってみてはどうかでしょうか。評価には、良かった点を積極的に認める。そして、改善が必要なところに新たな工夫をするといった明るいイメージがあると思うからです。

改善点の振り返りも、「ここをこうすればもっと良くなる」と、あくまでも良くしていくことにポイントを置いた前向きのとらえ方で行ってください。

その自己評価を年末年始も続けてきた3年生のみなさん、目標実現が、もう目の前まで来ていますね。時々不安に襲われることがあるかもしれませんが、ぜひ、自信をもってください。みなさんは、これまでやれることはやってきたはずで、3月13日に皆さんとお別れをしなければならぬ卒業式が待っています。我々教職員も、1、2年生も、その日までの一日一日を大切にしていきたいので、皆さんも中央中の思い出を記憶に焼き付けていってください。中央中全員の力で心に残る卒業式にしていきたいと思います。

寒い3学期ですが、頑張りましょう。昔から「冬来たりなば春遠からじ」（現代語訳：寒く厳しい冬がやってきたということは、間もなく明るく温かい春が必ずやってくる）（作者の真意：今は大変な状況でも、じっと我慢して頑張っていれば、必ず幸せが巡ってくる）と言われているとおり、春を待つ心が大きな成長につながるはずで、

# 2学期最終日の表彰、続きのおめでとう

2学期最後にお届けした「いま拓く」第27号でお伝えしきれなかった終業式直前の全校表彰で表彰された人の名前を改めてお伝えします。受賞されたみなさん、おめでとうございます。  
※敬称、記録省略(数字)は学年

## 【体力優良証】

新井匠人(3) 河又蓮(3) 篠部邦弘(3) 丹羽歩夢(3) 古賀帆流(3)  
 田所大知(3) 津久井虎太郎(3) 中町俊介(3) 諸星拓磨(3)  
 新井愛子(3) 安藤萌百(3) 大田桃愛(3) 小島悠那(3) 小堀叶愛(3)  
 櫻井真凜(3) 茅野晴夏(3) 西澤愛夏(3) 能澤董(3) 堀江智萌(3)  
 飯塚日菜梨(3) 久保摩知(3) 張乃之(3) 宮本柊(3) 村岡美桜(3)  
 早川侑希(2) 原田青空(2) 堀慶勝(2) 岡林孝亮(2) 川井泰志(2)  
 千石弘文(2) 和田樹(2) 有坂ヒカル(2) 金井愛奈(2) 亀井さくら(2)  
 川堀多央(2) 野口菫(2) 藤田優(2) 町山すみれ(2) 高堂花恋(2)  
 蓮沼菜奈実(2) 松倉結(2) 森部柚帆(2) 安田望央(2) 山岸奈央(2)  
 吉田馨花(2) 相澤茉緒菜(2) 江ノ畑菜青(2) 金子萌夏(2)  
 上山咲紀(2) 武井陽菜(2) 津久井叶羽(2) 長濱晴菜(2) 林華音(2)  
 吉田泉(2) 新井宏聖(1) 宮崎裕大(1) 上石椰月(1) 荒島六花(1)  
 川村莉子(1) 新井萌愛(1) 神山理帆(1) 茅野実空(1) 長澤美優花(1)  
 藤田菜摘(1)

## 【五地区学校新聞コンクール】

- 中学校学級新聞の部
 

特選	2年1組新聞委員	小川彩(2) 藤生美久(2)
準特選	3年1組新聞委員	岡部渉(3) 國枝美玖(3) 西澤愛夏(3)
入選	1年1組新聞委員	高野咲希(1) 鳥海桃楓(1) 山田杏菜(1)
	1年2組新聞委員	木野内瑠日(1) 小池芭奈(1) 西谷優陽(1)
	2年3組新聞委員	江泉蒼土(2) 金子萌夏(2) 林華音(2) 本山実咲(2)
	3年2組新聞委員	上林南葉(3) 久保摩知(3) 藤田瑚白(3)
- 中学校学習新聞の部
 

特選	有坂ヒカル(2)
準特選	藤生美久(2) 松倉結(2) 高堂花恋(2)
入選	國枝美玖(3)

## 【群馬県「障害者週間のポスター」】

- 中学生部門 佳作 蓮沼菜奈実(2) 山田杏菜(1)
- 【日本赤十字社群馬県支部】  
感謝状 中央中学校

## 【スケート】

- 群馬県ショートトラックスピードスケート距離別競技会  
男子1500m 第3位 新井宏聖(1)
- 国体選手選考会兼小中学生競技会  
中学生男子500m 第2位 新井宏聖(1)  
中学生男子1500m 第2位 新井宏聖(1)

## 【あいさつプラス笑顔でひとこと運動】

優秀賞 古賀帆流(3) 武村菜奈(3)

## 【IPAひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール】

4コマ漫画部門 優秀賞 本山実咲(2)

## 【お詫びと訂正】

「いま拓く」第27号でお知らせした教育文化発表会作品展美術の部(立体)、読書感想画入賞者の氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 茅野美空さん

(正) 茅野実空さん

## 【新年の俳句】

こぞことし つらぬ ぼう ごと  
 去年今年 貫く棒の 如きもの 高浜虚子

大意：新年になったが、棒のような何物かが旧年と今年とをしっかりと貫いている。

正月がやってくると引用されることが多い有名な新年の句です。大体の意味は上にお示ししたとおりですが、この句のテーマである「去年と今年とを貫く棒のようなもの」が何を指すのかははっきりしないため、有名な割には解釈が難しい俳句だと思います。

人によっては、この句を「人間が勝手に決めた年の分かれ目とは別に働け切れ目のない時間の連続性」を歌ったという解釈をしているようですが、私の解釈は少し異なります。と言うのも、一週間前に経験したばかりの年越しの瞬間が「荘厳、神聖、厳粛」を感じさせるものであったからです。となると、二つの年を貫く棒のようなものとは、大きな区切りである年の垣根さえも突き破って通過してしまうとても大きなものを表しているのではないのでしょうか。それが何を表すかは、読み手の解釈にかかってくるのだと思います。例えば信念。例えば運命。そして、例えば命。棒へのたとえ(直喩)が、真っ直ぐ堅固なもののイメージをかき立てます。新しい年に持ち越された、生徒のみなさん、保護者の皆様お一人お一人の「棒の如きもの」が、今後も真っ直ぐで堅固であり続けることを願ってやみません。